

開講科目名 / Course	学校保健学	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	2.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	草野 淳子	
担当教員名 / Instructor	赤星 琴美、草野 淳子、小野 治子、霜山 朋子、手嶋 康深、吉田 知佐子	
必修・選択 / compulsory subject	選択	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	児童・生徒の心身の健康維持・増進における学校保健の役割について、保健管理、保健学習、保健指導等を取り上げ、学校保健の内容を理解し、講義内容の要点を説明することができる。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 根拠となる法律、学習指導要領と教育課程について述べるができる。 2. 学校保健の意義や内容について述べるができる。 3. 年間行事を見通した保健室経営案や学校保健計画が立案できる。 4. 個人や集団を対象とした保健指導の立案・実施ができる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな看護の力・技術力、2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、3. 心豊かな人間性と倫理観、4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力 	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 全体オリエンテーション、養護教諭の職務 02. 学校保健活動の実際 03. 学習指導要領と教育課程及び学校保健の意義・内容 04. 学校保健安全計画の立案方法 05. 学校における健康観察（日常・緊急時の対応） 疾病・感染症の管理と予防（生徒・児童に多い疾患・感染症） 06. 健康診断の実施と事後処理 07. 学校環境衛生（教室内の温度・照度・机椅子の高さなど） 学校における広報活動の実際（保健だより・掲示物） 08. 保健室経営の立案・演習と評価 09. 学校における保健組織活動（委員会活動） 10. 症状アセスメントと対応の実際・課題の提示 11. 健康相談と心のケア（虐待・いじめ・ストレス） 12. 保健室経営の立案発表 13. 保健教育：保健指導案の作成方法・課題の提示 14. 症状アセスメントと対応の実際発表 15. 症状アセスメントと対応の実際発表 16. 保健教育：模擬授業 17. 保健教育：模擬授業 18. 保健教育：模擬授業 19. 保健教育：模擬授業 20. 教職員への啓蒙活動・保健教育、保健指導のまとめ 	
その他の授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健に関する公表されている資料・新聞記事・雑誌・学術論文など適宜ハンドアウトを配布し、最新の情報を提供する。 ・演習・発表を多く組み込むことで、それぞれの学生が影響を及ぼすグループダイナミクスを期待している。 	
時間外学修	シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書、参考書等を用いて事前学習を行うこと。また、授業を受けた後は復習、次回の授業に関する課題に取り組むこと。	
評価方法と評価割合	受講態度および筆記試験（80%）、課題レポート・発表（20%）	
テキスト	新養護概説 第6版（少年写真新聞社）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	赤星琴美：小学校、中学校、高等学校の養護教諭 小野治子：高等学校、特別支援学校の養護教諭 霜山朋子：小学校、中学校の養護教諭 手嶋康深：小学校、中学校の養護教諭 吉田知佐子：指導主事、小学校、中学校の養護教諭
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無

	内容	
実務経験をいかした教育内容	3名の非常勤講師については、指導主事、小学校、中学校での養護教諭の経験が30年以上あるため、実務経験をいかした教育内容を教授することができる。	